

# 小松SSHだより

## 石川県立小松高等学校

第1号 R4年5月  
編集 :SSH推進委員会  
発行責任者 :垣地 正樹

## 「正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を持った人材の育成」

本校は、平成18年から15年間(5年×3期)にわたりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業に取り組んできました。文部科学省からこれまでの成果とこれからの5年間の実施計画が認められ、昨年SSH指定校(実践型Ⅳ期目)に採択されました。今年は第2年次となります。

今年度も課題研究における「正答のない問題」への取り組みを基礎として、あらゆる学びの中で、批判的に物事をとらえ、課題を発見し、主体的・協働的に粘り強く考え、生涯にわたり継続的に学び続ける「探究力」の育成に努めます。また、さまざまな課外活動や学校設定科目を通して、探究活動に必要な「粘り強さ」の更なる育成にも努めます。

## ●令和4年度SSH事業予定●

<新型コロナウイルス感染拡大の影響で、変更や中止になる可能性があります>

### 学校設定科目

#### ●課題探究Ⅰ(理数科1年生)

様々な分野の実験を中心とした学習により探究スキルを育成します。テーマ発表会や指導教員による指導・助言を受けて、課題研究を開始します。



#### ●探究基礎(普通科1年生)

4月～9月はディベート小論文を中心に論理的思考力を養い、証拠による論証の仕方を学びます。10月以降はグループに分かれて基礎課題研究(文系希望者)と探究スキル育成講座(理系希望者)を行い、探究活動に必要な知識・技能を習得します。



#### ●プレゼンテーション&ディスカッション(1年生全員)

口頭発表に必要な技術や、発表用ファイル作成のための技術を習得します。続いて、科学に関する英語の文献を読み、英語による発表を行い、質疑応答や討議をする能力を育成します。情報Ⅰの内容もこの授業で学習します。



#### ●課題探究Ⅱ(理数科2年生)

大学の先生のアドバイスを受け、少人数グループによる課題研究を行います。そしてその成果を、校内及び校外で口頭発表、ポスター発表(日本語、英語)します。また、大学・企業との効果的な連携方法を模索します。



#### ●課題探究(普通科理系2年生)

「探究基礎」で育成された課題発見能力、探究スキルを用いて課題を設定し、課題研究を行います。また、クラス内発表会、校内発表会を行い、発表能力を育成します。



#### ●課題探究Ⅲ(理数科3年生)

科目融合、領域融合型の発展的な内容を学習し、少人数グループでの探究活動を通してデータ処理能力、問題解決能力の向上を目指します。現実の課題を解決するプロセスを経験することで、大学での学びにつなげていきます。



## ●科学探究（普通科理系3年生）

発展的な実験活動を通して、データ処理能力、問題解決能力を身につけます。さらに、科目融合、領域融合型の学習を行い、科目の枠にとらわれず各々の領域の知識を柔軟に関連づけ、探究力の向上を目指します。



## 校外学習予定

### ●生物分野の野外実習（理数科1年生）

日時：7月21日（木）～22日（金）  
場所：のと海洋ふれあいセンター、能登少年自然の家  
内容：ウニの発生実験、海辺の生物採集観察などを行います。



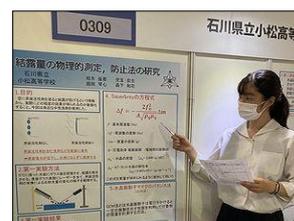
### ●大学実験セミナー（理数科2年生）

日時：7月25日（月）～26日（火）  
場所：石川県立大学  
内容：2つの班に分かれて実験セミナーを行います。  
A班：微生物実験セミナー B班：遺伝子に関する実験セミナー



### ●全国SSH生徒研究発表会（理数科3年生課題研究代表1グループ）

日時：8月3日（水）～4日（木）  
場所：神戸国際展示場（オンライン開催になる可能性あり）  
内容：全国のSSH校が一同に集まり研究発表会を行います。



NEW

### ●課題探究I 校外学習（理数科1年生）

日時：8月4日（木）  
場所：石川樹脂工業（株）他（調整中）  
内容：実際に物作りの現場を体験し、物作りに対する理解を深めます。

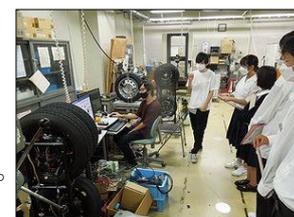
### ●地学分野の野外実習（理数科1年生、普通科1年生の希望者）

日時：8月19日（金）  
場所：金沢市銚子町付近（大桑層）  
内容：化石採集や地層観察などを行います。



### ●関東サイエンスツアー（理数科1年生）

日時：9月20日（火）～21日（水）  
場所：東京大学他（調整中）  
内容：最先端の科学研究に触れ、技術者や研究者と接することで見識を深めます。



### ●韓国大田科学高校との科学交流（理数科2年希望者）

日時：7月～12月に数回  
場所：小松高校にてオンライン交流  
内容：課題研究発表、共同研究発表、学校紹介、文化紹介などを行います。  
交流はすべて英語で行います。

